

平成 20 年 2 月 21 日
福岡水素エネルギー戦略会議

今後の水素エネルギー戦略について
～福岡水素戦略(Hy-Life プロジェクト)～

第 1 . 北米水素産業調査団からの提言

平成 19 年 8 月にカナダ・アメリカに派遣した北米水素産業調査団から、「水素エネルギー社会を世界に先駆け実現するためには、水素エネルギー社会を可視化・具現化するための総合的な取り組みが必要。」として、以下の提言。

提言 1 . 実証活動の更なる強化

提言 2 . 研究成果を産業界に還元する体制づくり

提言 3 . 中小・ベンチャー企業が次々と生まれ、活躍できる土壌づくり

第 2 . 今後の水素エネルギー戦略

調査団の提言を踏まえ、「福岡水素戦略(Hy-Life プロジェクト)」として、以下の施策を実施。()

〔提言 1 関連〕

施策 1 . 水素ハイウェイの構築

施策 2 . 水素タウンの整備

施策 3 . 各種モデル地区の構築(小型移動体等)

〔提言 2 関連〕

施策 4 . 先端研究を活かした製品試験・評価施設の設立

〔提言 3 関連〕

施策 5 . 中小・ベンチャー企業が次々と生まれ、活躍できる土壌づくり

概ね 3 年以内の実現を目指す。

「研究開発」「人材育成」「情報交流・普及啓発」は、従前通り実施

第3．福岡水素戦略（Hy-Life プロジェクト）の事業内容

施策1．水素ハイウェイの構築

- ・ 北九州市東田地区～福岡市（九州大学）の2ヵ所に水素ステーションを整備し、北九州～福岡間に「水素ハイウェイ」を構築。
「副生水素」や「再生可能エネルギー」を利用した次世代型水素ステーションを整備。
「副生水素」については、パイプライン供給を検討。
- ・ 将来的には本州側へと延伸し、東京～福岡間の「水素ハイウェイ」を構築。

施策2．水素タウンの整備

- ・ 水素エネルギー社会を可視化・具現化するモデル都市として、家庭用燃料電池を集中的に設置する世界最大の「水素タウン」を整備。

施策3．各種モデル地区の構築（小型移動体等）

- ・ 北九州市の水素ステーションを核とした「小型移動体モデル地区」を構築。（FCフォークリフト，FC車いす，FCバイク，FC自転車 etc）
- ・ 将来的には、空港・野球場における小型移動体実証も検討。
- ・ 携帯機器用燃料電池（パソコン・携帯電話用 etc）など、早期の実用化が期待される多様な製品の実証活動を積極的に展開。

施策4．先端研究を活かした製品試験・評価施設の整備検討

- ・ 研究成果を産業界に還元するため、水素関連製品の試験・評価を行う施設の整備を検討。
- ・ 「製品試験・評価施設」は、最新知見に基づき製品試験結果を解析し、製品製造にアドバイス可能な世界唯一の施設を目指す。
- ・ 将来的には、福岡から世界標準の発信を目指す。

施策5．中小・ベンチャー企業が次々と生まれ、活躍できる土壌づくり

- ・ 九州大学「水素利用技術研究センター」に、中小・ベンチャー企業の技術相談窓口を設置。
- ・ 中小・ベンチャー企業の発掘、育成に必須な「目利き（産官学コーディネータ）」を育成。

以上